

ノロウイルスによる 感染症・食中毒を防ごう！

ノロウイルスは

① 感染症と② 食中毒の両方の側面を持ちます。



© SARAYA CO.,LTD

人がから人が最も多い感染経路

ノロウイルスの感染経路



感染 感染

腸粘膜で増殖

潜伏期間 18～48時間
突発性の嘔吐・吐き気
下痢症状・発熱は軽度。

成人では吐気や腹部膨満感が強い

環境中に排泄

感染性胃腸炎

感染性胃腸炎を引き起こすウイルスにノロウイルスが含まれます。他にアデノウイルスやロタウイルスがあります。最も感染力が強いのがノロウイルスです。

5つの対策

- 1 徹底した手洗い
- 2 環境の清浄
- 3 汚物・嘔吐物の処理
- 4 健康管理
- 5 食品の加熱処理

5つの特徴

1 人の腸管内のみで増殖

2 感染ルートが複数

3 繰り返し発症・感染

4 感染力が強い

5 有効な薬剤・ワクチン無

別名: 病原性大腸菌

0-157は細菌性の胃腸炎

は「ベロ毒素」と

いう強い毒素を作り出して重症では腎不全を起こします。

- 10個～100個のウイルス粒子でも感染が成立する (インフルエンザは1000-3000個) **感染力をなくすこと**
- ノロウイルスは、塩素系消毒剤や加熱で不活化ができます。(アルコールや逆性石鹼はあまり効果はない)
- 加熱の目安は中心温度が85℃以上・90秒以上
- ノロウイルスは大変小さいので、指のしわに入りやすいので、丁寧な手洗いで流すことが大切です。

かかったら

大学 HP「感染症について」を参照し、「学校感染症治癒証明書」を出してからの受診をおすすめします。

- 感染性胃腸炎は公欠になります。(あくまでも医師の判断ですが) インフルエンザ同様の手続きをとってください。
- 嘔吐や下痢、食事がとれないなどで、脱水になりやすいので、電解質入りの水分をこまめにとってください。
- 汚物、嘔吐物の掃除は使い捨ての紙、布で消毒剤でふき取る
- 衣服の洗濯は汚染されたものだけで洗う